

交通対策課

1 交通安全対策事務費 交通安全対策事業費 予算科目(款・項・目) 10・05・55

[決算書109ページ]

関係機関と協力し、交通安全に対する啓発など、交通安全の推進を図るもの

(1) 市民への交通安全啓発活動

ア 春、秋の全国交通安全運動等

(ア) 春の全国交通安全運動期間 令和5年5月11日から同月20日まで

春の全国交通安全運動実施に伴い、交通ルール・マナーの周知、浸透を図るために、警察及び交通安全協会等関係団体と連携し、下記の啓発活動を実施した。

イベント名称	実施日	場所	内容
親子交通安全のつどい	令和5年5月13日	文化会館たづくり12階大会議場	・交通安全DVD視聴 ・ボーイスカウト演技 ・クラフト体験 ・安全講話
警視庁騎馬隊による交通安全教室	令和5年5月16日	飛田給駅前	警視庁騎馬隊による交通安全教室
自転車安全利用TOKYOキャンペーン	令和5年5月17日	市役所前庭	・自転車利用者に対して交通ルールとマナーの啓発 ・反射材の配布 ・自転車無料点検
自転車安全利用キャンペーン	令和5年5月19日	調布駅前広場	・自転車利用者に対して交通ルールとマナーの啓発

(イ) 秋の全国交通安全運動期間 令和5年9月21日から同月30日まで

秋の全国交通安全運動実施に伴い、交通ルール・マナーの周知、浸透を図るために、警察及び交通安全協会等関係団体と連携し、下記の啓発活動を実施した。

イベント名称	実施日	場所	内容
秋の交通安全のつどい	令和5年9月9日 (運動期間前)	調布市グリーンホール大ホール	・1日警察署長委嘱式 ・交通安全教育ステージ ・交通安全パレード
自転車安全利用キャンペーン	令和5年9月25日	調布駅前広場	自転車利用者に対して交通ルールとマナーの啓発
自転車安全利用キャンペーン	令和5年9月27日	キテラタウン調布店駐輪場周辺	・自転車利用者に対して交通ルールとマナーの啓発 ・反射材の配布 ・自転車無料点検

イ 自転車安全利用キャンペーン

自転車の安全利用を広く訴えるために、警察及び関係団体と連携し、広報啓発活動を実施した。

イベント名称	実施日	場所	内容
自転車安全利用キャンペーン	令和5年11月22日	キッチンコート西調布店駐輪場周辺	・自転車利用者に対して交通ルールとマナーの啓発 ・反射材の配布
自転車安全利用キャンペーン	令和5年11月29日	キッチンコート西調布店駐輪場周辺	・自転車利用者に対して交通ルールとマナー啓発 ・反射材の配布 ・自転車無料点検

ウ 高齢者交通安全対策事業

(ア) 高齢者交通安全指導員（シルバーリーダー）講習会

令和5年11月10日に実施し、地域の高齢者の交通安全教育の推進と交通事故防止を啓発するため、市内老人クラブの代表等27人が参加した。

(イ) 調布市高齢者等運転免許自主返納サポート事業

高齢者が運転する自動車事故の減少を目的に、調布市と調布市商工会、調布市高齢者免許自主返納推進市民会議が連携・協力して、運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗で運転経歴証明書を提示することで、店舗特典サービスを受けることができるサポート事業を開始した。

この事業を通じて、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを推進することにより、運転に不安を感じている高齢者等の運転免許証自主返納の促進に寄与する。

サービス利用実績 (単位：人)

実施状況	令和4年度	令和5年度
特典利用人数	7	83

エ 新1年生への交通安全運動

令和6年4月に新1年生になる小学生を対象に、ランドセルカバー及び黄色い帽子等を配布した（配布数2,070個）。

(2) 団体交付金支出状況（調布市交通安全対策事業補助金交付要綱に基づく） (単位：円)

団体	金額	活動内容
調布交通安全協会	2,000,000	交通安全指導・子どもの交通事故防止活動・自転車交通安全教室の開催・街頭キャンペーン等による啓発
調布警察署管内園児交通安全防犯連絡会	570,000	交通安全講習会の実施・防犯講習会の実施・交通安全啓発活動・子ども交通安全のつどい等による啓発
合計	2,570,000	

(3) 夏休み親子交通安全フェスタ

調布警察署による交通安全講話や歩行訓練、白バイデモ走行、EVカートの走行体験、東京都による自転車シミュレーターを用いた模擬走行体験、子ども安全免許証の交付などを実施し、交通安全に関する正しい知識の普及を図るため、幼児、児童及び保護者を対象とした親子交通安全教室を開催した。

ア 開催日 令和5年7月22日

イ 会場 子ども交通教室

ウ 参加人数 子ども82人（乳幼児58人、小学生24人） 大人73人

(4) 調布市自転車安全利用講習会

一般の自転車利用者及び市職員向けに座学型の自転車安全利用講習会を開催した。(単位：人)

区分	開催日	会場	参加人数
第1回	令和5年9月10日 午前	文化会館たづくり12階大会議場	21
第2回	令和5年9月11日 午前	文化会館たづくり8階映像シアター	39
第3回	令和5年9月12日 午後	文化会館たづくり8階映像シアター	35
合計			95

(5) 自転車安全利用促進事業

東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例により、令和2年4月1日から自転車保険への加入が義務化となった。

これを受け、多くの市民に自転車点検・整備の重要性及び自転車保険義務化が周知されることを目的として、自転車保険の1つであるTSマーク付帯保険加入費用に対して、助成券配布方式により1枚あたり1,000円を助成した。(単位：枚)

実施状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成券配布枚数	149	191	250
助成券使用枚数	7	5	2

(6) 自転車用ヘルメット着用促進事業

令和5年4月から改正道路交通法が施行され、自転車利用者のヘルメット着用が全世代に対して努力義務化された。

これを受け、多くの市民に自転車利用者のヘルメットの着用及び、市内の自転車利用者の安全運転を推進するため、調布市民が安全基準を満たした自転車用ヘルメットを対象店舗で購入する際、1個あたり最大2,000円を値引いて購入することができる自転車用ヘルメット着用促進事業を実施した。

ア 対象店舗数（令和6年3月末時点）（単位：店舗）

調布市	狛江市
20	4

イ 利用実績 (単位：個)

実施状況	令和5年度(8月～)
購入助成個数	2,836

(7) 東京都市町村民交通災害共済

ア 加入状況 (単位：人)

加入者	令和3年度 加入者数	令和4年度 加入者数	令和5年度 加入者数
一般加入Aコース	2,966	2,737	2,230
一般加入Bコース	859	781	609
小・中学生	17,819	18,010	18,195
交通安全協会役員	129	82	78
合計	21,773	21,610	21,112

イ 東京都市町村民交通災害共済見舞金支払状況

支払状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数(件)	23	30	29
金額(円)	1,610,000	1,630,000	1,650,000

(8) 子ども交通教室

幼児及び児童の自転車の安全な利用を促すことにより、広く市民の交通マナーを高めるため設置するもの

ア 幼児・児童を対象としたクラブ

幼児・児童を対象とした3つのクラブを春期と秋期に加え、短期クラブを3期開設し、各期週1回、子どもたちに交通ルールや自転車の安全な乗り方などを指導した。

実施回数(回)	子ども(人)	大人(人)	参加人数計(人)
68	203	183	386

イ 1日交通安全教室

園児や小学生を対象に、自転車の安全な乗り方について、コースを利用して指導したほか、スライドやビデオを見ながら交通ルールを学ぶ教室を開催した。

開催回数 (回)	園児 (人)	小学生 (人)	父母・教諭 (人)	受講人数 (人)
11	68	286	62	416

ウ 延べ利用人数 (一般開放時を含む。) (単位: 人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
17,589	18,247	17,460

(9) スタントマンを活用した自転車交通安全教室 (交通事故再現スタント)

スタントマンが交通事故を再現することにより、参加者に交通事故の衝撃や怖さを知ってもらい交通ルールやマナーの向上を図ることを目的として実施するもの

実施場所	実施日	参加人数 (人)
東京都立神代高校	令和5年5月1日	320
調布市立第七中学校	令和5年6月9日	432
調布市立第八中学校 (※)	令和5年9月22日	330
調布市立調布中学校 (※)	令和5年10月2日	616

※ シルバー人材センター職員も同席

(10) その他交通安全教育

交通安全講話

開催回数 (回)	園児 (人)	小学生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
67	216	10,798	2,184	13,198

歩行訓練 (保育園・幼稚園・新1年生)

開催回数 (回)	園児 (人)	小学生 (人)	合計 (人)
32	1,202	1,476	2,678

自転車実技教室

開催回数 (回)	小学生 (人)	中学生 (人)	合計 (人)
8	673	0	673

自転車講話

開催回数 (回)	小学生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
19	1,293	459	1,752

(11) 令和5年1月から同年12月までの交通事故件数等

交通事故 (人身) 件数

件数 (件)	死亡者数 (人)	重傷者数 (人)	軽傷者数 (人)
514	0	16	498

年齢階層別死傷者数

20歳未満 (人)	20~24歳 (人)	25~64歳 (人)	高齢者 (人)
57	39	317	134

関連事故件数 (第一当事者・第二当事者 (※) を含む。) (単位: 件)

自転車関連事故件数		歩行者関連事故件数	
	うち、違反なし件数		うち、違反なし件数
319	86	69	59

※ 「第一当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重いものをいい、また、過失が同程度の場合には、人身損傷程度が軽いものをいう。

また、「第二当事者」とは、当該交通事故における過失がより軽いか、又は過失（違反）が同程度の場合にあっては、被害がより大きい方の当事者をいう。

2 自転車対策事業 予算科目（款・項・目）40・05・05 [決算書293～295ページ]

通勤、通学、買物等における自転車・原動機付自転車利用者の利便性向上のため、自転車等駐車を整備、管理・運営するとともに、放置自転車の撤去、保管、処分等を行うもの

(1) 自転車等駐車対策協議会

ア 概要 調布市自転車等の駐車対策の総合的推進に関する条例第11条の規定により、自転車等の駐車対策に関する重要事項について調査審議を行うため、設置するもの

イ 委員構成等 商工関係者（4人）、交通安全関連組織役員（2人）、関係行政機関（3人）、鉄道事業者（1人）、市職員（5人）をもって組織 男13人、女2人

ウ 開催状況

令和5年度は開催しなかった。

(2) 自転車等駐車場設置状況

ア 有料・無料駐車場（令和6年3月31日現在）

区分	収容台数（台）	比率（％）	箇所数	比率（％）
有料駐車場	21,300	93.22	37	90.24
無料駐車場	1,550	6.78	4	9.76
合計	22,850	100.0	41	100.0

イ 駐車場施設用地（令和6年3月31日現在）

区分	箇所数
市有地	21
民地（市民等）	16
民地（京王電鉄株式会社）	4
中日本高速道路株式会社	1
合計	42

(3) 自転車等駐車場運営等業務

無料駐車場及び有料駐車場の管理運営、市内京王線9駅周辺で指定した自転車等放置禁止区域を中心とした放置自転車の撤去並びに撤去した自転車等の管理、返還、売却及び処分を行った。

売却及び処分などの業務を除き、この業務は一般財団法人調布市市民サービス公社（以下「公社」という。）に委託した。

ア 無料自転車等駐車場整理業務

無料自転車等駐車場における使用者への駐車場内の誘導、自転車等の整理、清掃、満車状態時におけるほかの自転車等駐車場使用の案内、長期間存置されている自転車等の確認業務を行った。

イ 有料自転車等駐車場運営等業務

有料自転車等駐車場の使用料の徴収に関する月ぎめ使用に係る受付、使用料の収納、駐車証等の発行、収納した使用料の市への払込み及び駐車場使用者の誘導、整理、清掃、台数確認、機械式駐車場の管理・保守業務、自転車等駐車場巡回業務並びに各種点検業務を行った。

また、調布市立国領北自転車駐車場について耐用年数の経過した出入口ゲート等を更新した。

ウ 自転車等保管所運營業務

放置自転車として撤去し、上石原及びつつじヶ丘自転車等保管所に移送した自転車等の防犯登録情報等のデータ入力、返還の自転車等の確認、自転車等撤去費用の収納及び受領証・領収書作成等の返還手続、返還に関する問合せの対応並びに保管所内の整理、清掃業務を行った。

エ 自転車対策管理業務

(ア) 放置自転車等撤去、移送、処分等業務

放置自転車等の撤去及び当該自転車の保管所への移送、自転車等駐車場内に長期間放置されている自転車等の撤去及び移送並びに保管期限が満了した保管所内の自転車等の処分業務を行った。

(イ) 放置自転車等システム運用業務

撤去した自転車等の管理等を行うため、保管所・市・公社間にネットワークでつながっている放置自転車等システムのリース契約、通信回線の保守、履歴の確認及びデータのバックアップ業務を行った。

オ 放置自転車等撤去・返還・売却・廃棄等状況

(単位：台)

区 分	撤 去	返 還	売 却	廃 棄	リサイクル	海外供与
自転車	2,103	1,400	602	52	72	0
原動機付自転車	25	19	6	0	0	0
合計	2,128	1,419	608	52	72	0

(4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

放置自転車は、歩行者の安全な通行を妨げ、街の美観を損ね、災害時には緊急活動を阻害する要因となるなど社会問題となっている。

このような放置自転車問題を広く市民に訴え、放置防止を図るため、関係団体と連携して、市内の放置自転車等の多い調布駅、つつじヶ丘駅、仙川駅周辺で駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施した。

ア 期間

令和5年10月22日から同月31日まで

イ 活動実績

(ア) 広報活動 調布駅・つつじヶ丘駅・仙川駅前で、広報用ティッシュ約10,000個、啓発用チラシ約10,000枚を配布

(イ) 撤去活動 延べ9日間実施、撤去・移送台数101台

(ウ) 協力団体 3団体 延べ参加者数136人

(5) シェアサイクル事業

市民や来訪者の回遊性・利便性の向上を図るため、令和4年度から民間管理運営事業者と協定を締結し、本格実施をしている。

ア 本格実施期間

令和4年4月1日から

イ 市内サイクルステーション設置状況（令和6年3月31日現在）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年増減数
サイクルステーション数(箇所)	79	87	94	7
ラック数(台)(最大収容台数)	650	725	801	76

ウ 稼働状況（年間累計）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年増減数
利用台数(回)	172,723	247,422	353,453	106,031
稼働台数(台)	24,857	35,407	54,530	19,123

3 ミニバス交通事業

予算科目（款・項・目）40・05・05〔決算書295ページ〕

高齢者等の社会参加の促進と公共交通不便地域の解消等を目的に、公共交通整備重点地区への対応として3路線（西・東・北路線）を設定し、民間バス事業者と共同で運行事業を実施するもの

(1) 調布市ミニバス3路線（西・東・北路線）

西路線については、運行収支の赤字分を運行事業補助金として予算の範囲内で交付するとともに、円滑な運行を継続するため協議をバス事業者と行った。東路線については、運行事業者の運転士不足等の影響が大きく、令和6年3月16日にダイヤ改正を行った。

(2) 共同路線（みたかシティバス）

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ～つつじヶ丘駅の路線が一日12便（往復・曜日問わず）、杏林大学病院～つつじヶ丘駅の路線が一日8便（往復・曜日問わず）運行されている。

調布市ミニバス3路線利用人数

（単位：人）

路線名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年増減数
西路線	304,368	341,043	373,524	32,481
東路線	157,541	171,050	176,393	5,343
北路線	274,395	308,412	321,984	13,572
合計	736,304	820,505	871,901	51,396

共同路線（みたかシティバス）利用人数

（単位：人）

路線名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年増減数
新川・中原ルート	127,156	134,623	139,340	4,717

(3) 北部地域における巡回公共交通

北部地域におけるデマンド型交通の運行開始までの期間に、令和5年3月31日まで運行した巡回公共交通（実証実験）の運行内容を北部地域の移動手段として毎週金曜日のみ運行。

ア 運行日

令和5年4月7日から令和5年12月22日までの金曜日

イ 運行便数

午前9時台から午後3時台までの計7便

ウ 運行日数（単位：日）

令和5年度
38

エ 利用人数（単位：人）

令和5年度
368

(4) 北部地域におけるデマンド型交通（実証実験）

北部地域における巡回公共交通の運行に比べ、より柔軟に対象地域の方々のニーズに対応するため、深大寺北町・深大寺東町と一部市外の地域に設置された乗降ポイントを運行する、事前予約型

乗合タクシー事業を実証実験形式で運行した。

ア 運行日

令和5年12月25日から令和6年3月31日までの月曜日から土曜日（祝日，年末年始は運休）

イ 乗降ポイント数（単位：か所）

令和5年度
44

ウ 運行日数（単位：日）

令和5年度
71

エ 利用人数（単位：人）

	令和5年度
12月	8
1月	53
2月	59
3月	89
合計	209

4 自転車駐車場等整備事業 予算科目（款・項・目）40・05・10〔決算書295ページ〕

施設の運営管理の適正化を図るとともに，調布市自転車等対策実施計画に基づく，自転車駐車場等の整備・有料化を推進し，併せて，恒久的な自転車駐車場等の設置について取り組むもの

(1) 自転車駐車場等の整備状況

令和5年度は，劣化が進んでいた調布南第1自転車駐車場の自転車搬送用コンベアのベルト，駆動軸等の交換，修繕を行った。

また，道路拡幅整備に伴い国領西自転車等駐車場の敷地が減少するため，改修工事に備え，設計委託を実施した。

5 自転車通行空間整備費 予算科目（款・項・目）40・05・05〔決算書295ページ〕

調布市自転車ネットワーク計画に基づき，車道を通行する自転車の安全を確保し，良好な自転車通行環境を実現させるため，自転車通行空間整備を進めるもの

(1) 自転車通行空間整備状況

調布市総合交通計画に基づき，今後の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークや公共交通の利用環境の向上に向けた検討を進めている。特に自転車走行環境の整備においては，平成30年11月に策定した「調布市自転車ネットワーク計画」に基づき，駅周辺などの自転車利用が集中する地区を重点整備エリアとして位置付け，自転車，歩行者が錯そうする駅周辺（自転車等駐車場へのアクセス路線），中心市街地の回遊性に資する路線，東京オリンピック・パラリンピック関連施設や観光拠点間の回遊性に資する路線などを中心として，現状で道路幅員が6m以上ある市道を優先整備路線（I期）事業として進めていく。

ア 自転車ナビマーク・ナビライン設置状況（令和6年3月31日現在）

	令和4年度	令和5年度	合計
調布市道路線数（路線）	3	2	5

自転車ナビマーク・ナビライン整備延長 (m)	800	310	1,110
------------------------	-----	-----	-------

6 都市計画管理事務 予算科目(款・項・目) 40・15・05 [決算書313～315ページ]

調布市都市計画マスタープランで示された将来都市像を実現するため、各種交通関連施策と連携し効率的な展開を図るもの

(1) 調布市公共交通活性化協議会

令和5年度は、主に北部地域の新たな公共交通としてデマンド型交通、今後の本市における「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするマスタープランとなる地域公共交通計画について協議した。

ア 概要 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき、同法第5条に規定する地域公共交通計画の作成に関する協議及び同計画の実施に係る連絡調整を行うため、並びに道路運送法に基づき、調布市内の需要に応じ、住民の生活に必要な旅客運送を確保し、その他旅客の利便を増進し、各地域の実情に即した旅客輸送を実現するため、設置するもの

イ 委員構成等 市民(4人)、学識経験者(2人)、公共交通事業者(6人)、公共交通事業者労働組合(2人)、福祉関係者(1人)、関係行政機関(7人)、市職員(1人)をもって組織男19人、女4人

ウ 開催状況

区分	開催等	主な内容
第1回	令和5年8月24日 文化会館たづくり12階 大会議場	・会長、副会長の選出 ・北部地域公共交通に関する新たな実証実験について
第2回	令和5年10月13日 ※書面開催	・北部地域デマンド型交通の道路運送法第21条に基づく乗降ポイントの申請箇所について
第3回	令和5年11月14日 文化会館たづくり12階 大会議場	・調布市地域公共交通計画について
第4回	令和6年2月7日 ※書面開催	・北部地域デマンド型交通実証実験の変更について
第5回	令和6年3月24日 文化会館たづくり12階 大会議場	・北部地域デマンド型交通実証実験について ・地域公共交通計画策定について ・調布市ミニバスの改定について

(2) 調布市バリアフリー推進協議会

平成24年3月に策定した調布市バリアフリー基本構想が目標年次を迎えたことや、改正バリアフリー法に伴い、内容の見直しを行い、バリアフリー化を促進する地区とその方針について定める「調布市バリアフリーマスタープラン」と、移動等円滑化に向けた具体的な事業を位置付ける「調布市バリアフリー基本構想」を令和4年度に策定した。

また同年度、この基本構想に基づき、施設設置管理者がそれぞれ作成した特定事業計画について調布市バリアフリー推進協議会の中で内容を確認し、「調布市バリアフリー特定事業計画」として取りまとめた。

令和5年度はバリアフリー推進協議会は開催せず、今後の「調布市バリアフリー特定事業計画」の進捗管理を見据えて、当該協議会で活用する資料等を作成した。

ア 概要 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第25条の規定により、調布市
 バリアフリー基本構想の策定及びバリアフリーに関する各種事業の円滑な推進のため、設置する
 もの

イ 委員構成等 市民（2人）、学識経験者（2人）、公共交通事業者（3人）、商工関係者（1
 人）、福祉関係者（6人）、関係行政機関（5人）、市職員（2人）をもって組織 男16人、
 女5人

7 国領駅南口市営駐車場事業 予算科目（款・項・目）40・15・13〔決算書317ページ〕

国領駅周辺をはじめとする中心市街地の活性化対策や公共公益施設利用者の利便性向上のため、施
 設を運営するもの

(1) 施設概要

ア 運営形態 24時間年中無休営業 時間貸し及び定期貸し併用

イ 所在地 調布市国領町3丁目1番地38（ココスクエアビル内）

ウ 延床面積 10,888.67㎡

（専有部分 9,817.15㎡ 共有部分 1,071.52㎡）

エ 収容台数 327台

オ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造，鉄骨造 地下1階～地上6階のうち地上3階～6階

カ 開設 平成14年4月1日

(2) 利用状況

ア 施設利用状況

月	区分	使用台数（台）		回数券売上枚数（枚）	
		普通使用	定期契約	30分回数券	1時間回数券
4		14,747	229	10,110	10,500
5		15,614	237	20,132	10,033
6		14,949	210	10,110	10,544
7		16,218	236	10,110	11,022
8		16,091	217	10,198	10,885
9		15,637	211	20,154	10,033
10		15,246	221	10,308	10,973
11		14,431	225	10,110	10,000
12		15,426	239	20,418	10,863
1		14,837	224	10,588	11,022
2		14,572	236	10,132	10,154
3		16,123	233	20,308	11,083
合 計	令和5年度	183,891	2,718	162,678	127,112
	令和4年度	176,250	2,509	122,464	127,475

イ 普通使用に伴う割引及び減免制度利用状況 (単位：件)

月	区分	夜間最大使用料1,000円	すこやか利用者に対する普通使 用料最大1時間分の減免

4		40	232
5		46	262
6		49	270
7		39	345
8		26	380
9		33	367
10		25	262
11		32	265
12		26	270
1		26	273
2		13	445
3		30	160
合 計	令和5年度	385	3,531
	令和4年度	332	2,626

ウ 施設整備状況

令和5年度は、環境政策課及び住宅課と連携し、調布市内にある公共施設へのEV充電設備の設置に向けての検討を実施し、電気自動車（EV）向け充電サービスを展開するTerra Charge株式会社と調整を図った。

その結果、令和6年2月20日に調布市商工会とTerra Charge株式会社、調布市の3者で「ゼロカーボンシティ調布の実現に向けた電気自動車充電設備の整備に関する連携協定」を締結し、同社による令和6年度の国領駅南口市営駐車場へのEV充電設備設置に向け協議を進めた。